令和８年度（令和７年度実施）入学者選抜
「活動報告書」作成要領

「活動報告書」は、以下の表で示す各学部・学科の選抜区分で活用します。各学部・学科で定めるアドミッション・ポリシーに基づいて評価を行うため、この作成要領をよく読んで作成・提出してください。

①「活動報告書」を活用する学部・学科と選抜区分、及び各選抜区分における提出書類

学部・学科	選抜区分	提出書類	
		「意欲的に取り組んだ活動」シートA	「資格・検定等」シートB
医学部医学科	総合型選抜	○　（2 件まで）	○
歯学部口腔保健学科	学校推薦型選抜Ⅱ	○　（2 件まで）	○
薬学部薬学科	学校推薦型選抜Ⅱ	○　（1 件）	○
理工学部理工学科	学校推薦型選抜Ⅰ 理工学経験重視型	○　（1 件）	○
	学校推薦型選抜Ⅰ 次世代光フロンティア入試	○　（1 件）	○
	学校推薦型選抜Ⅱ	○　（1 件）	不要
生物資源産業学部 生物資源産業学科	学校推薦型選抜Ⅰ 専門総合・全国枠 専門総合･地域定着枠	○　（1 件）	○
	学校推薦型選抜Ⅰ 一般枠	○　（1 件）	○
	学校推薦型選抜Ⅱ	○　（1 件）	不要

※シート A、シート B は出願時に各自で印刷して願書と一緒に郵送すること。

②シート A：「意欲的に取り組んだ活動」について

中学校卒業後に「意欲的に取り組んだ活動」（部活動、生徒会活動、プロジェクト活動、ボランティア活動、海外留学などの学校内外で行った活動）について作成すること。

【入力内容】

・タイトル（20 字程度で明確にまとめる）
・活動を行った期間　（入力時に期間を選択）
・活動の説明（300 字以内、句読点含む）
活動のプロセスや変容などを踏まえ、各学部・学科で定めるアドミッション・ポリシーをよく理解した上で作成すること。

【参考資料】

・「意欲的に取り組んだ活動」の裏づけとなる資料がある場合に提出すること（受験者の氏名記載又は記入のあること）。参考資料の添付は任意とするが、「意欲的に取り組んだ活動」の評価へ影響することがある。
・提出する場合は、書類名と総枚数を必ず入力すること。

・コピー可（フルカラー等は不問)。返却はしません。
・A4 片面または A3 片面。電子媒体不可。
・1 件目・2 件目（2 件目を提出する場合）のいずれに関連するものか分かるようにすること。
・１件につき参考資料が 2 枚以上となる場合は、クリップ止めすること。
・枚数等の制限はないが、簡略化すること。

【注意事項】
・学部・学科によって作成する件数が異なります。①の表で確認すること。
《1 件》の場合、1 件目の作成は必須。2 件目は空欄で提出すること（2 件目を作成した場合でも審査対象は 1 件目のみ)。
《2 件まで》の場合、1 件目の作成は必須ですが 2 件目の作成は任意です。1 件のみで提出する場合、2 件目は空欄で提出すること。
・理工学部の推薦Ⅰ（理工学経験重視型）受験者、生物資源産業学部の推薦Ⅰ（専門総合･全国枠、専門総合･地域定着枠）受験者は、高等学校の学科特有の活動について作成すること。
・中学校卒業前から継続して取り組んでいる活動がある場合は、活動の説明内に入力することは差し支えありません。その場合、期間は、中学校卒業後の活動期間を選択すること。
・出願後の差し替えや再提出は、一切認めません。
・受験勉強と見なされる活動報告は、評価の対象外となることがあります。

③シート B：「資格・検定等」
取得した資格、合格した検定等（コンテスト、大会の受賞歴等含む）について作成すること（取得時期は限定しません)。

【入力内容】
・英語に関するものは、画面の表示内容から試験名を選択し、スコア（総合）や合格した級、取得等の年月を入力すること（3 件まで)。
・英語以外に関するものは、取得した資格や合格した検定等（コンテスト，大会の受賞歴等)、取得等の年月を入力すること（10 件まで)。

【添付資料】
・合格証書、認定書、賞状など、シート B に入力された内容を証明できる書類を必ず提出すること（受験者の氏名が記載されていること)。
・コピー可（フルカラー等は不問)。返却はしません。
・A4 片面または A3 片面。電子媒体不可。
・どの資格・検定等に関連するものか分かるようにすること。
・書類が 2 枚以上となる場合は、クリップ止めすること。

【注意事項】
・資格・検定等の取得がない場合は、空欄のまま提出すること。
・件数は評価の対象としません。
・出願後の差し替えや再提出は、一切認めません。
・証明できる書類の提出がない場合は、書類が不足する項目を審査の対象外とした上で受理します。